

経営比較分析表

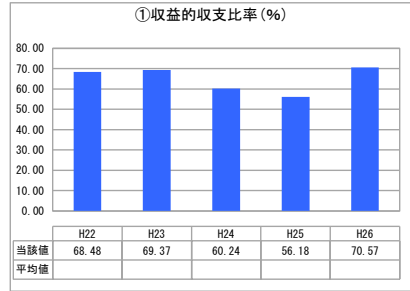
埼玉県 久喜市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	68.95	81.38	1,836

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
154,694	82.41	1,877.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
106,457	18.20	5,849.29

■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

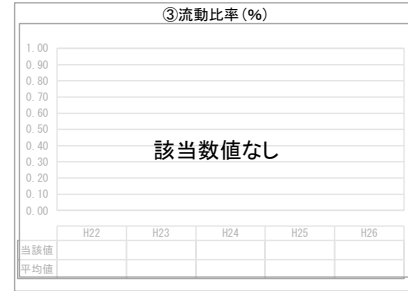
1. 経営の健全性・効率性



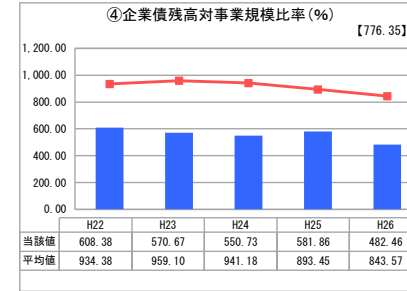
「単年度の収支」



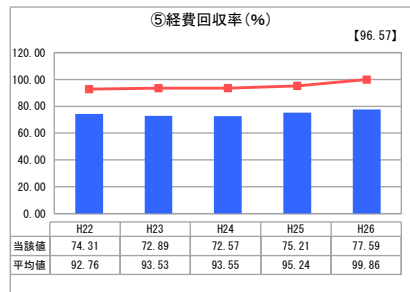
「累積欠損」



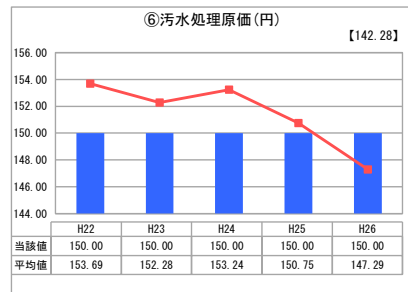
「支払能力」



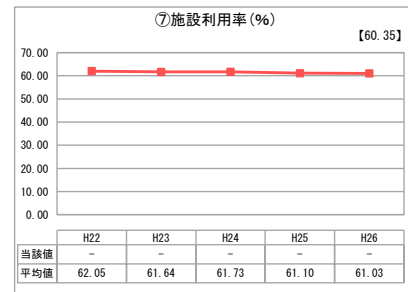
「債務残高」



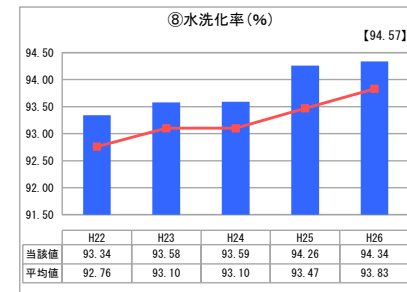
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

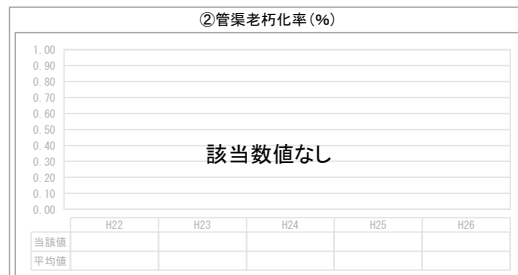


「使用料対象の捕捉」

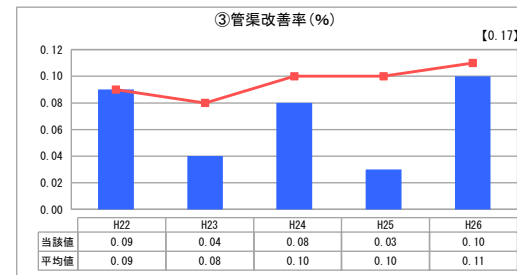
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成22年度から平成26年度にかけて、適正値である100%より低く推移しています。しかし、平成26年度については前年度と比較し、14.39ポイント上昇していることから改善傾向にあります。そのため、平成26年度に続き、財源の確保や、更なる費用の削減に努めます。

④企業債残高対事業規模比率
年度によっては小幅増加があるものの、全体的に見ると減少傾向であることが分かります。また平成26年度については、前年度に比べ99.4ポイントの減少と過去5年間で最も減少しています。さらに全国平均及び類似団体平均と比較しても低い値で抑えられていることから、引き続き企業債残高の抑制に努めます。

⑤経費回収率
平成26年度は前年度と比較し、2.38ポイント上昇したことから、経営の改善が伺えます。しかし、全国平均及び類似団体平均を大きく下回っていることから引き続き経営改善に取り組みます。

⑥汚水処理原価
平成26年度までは類似団体平均と比較すると低く推移していますが、平成26年度については上記平均値より高値となりました。そのため、維持管理方法の見直し等を行い、更なる費用の削減に努めます。

⑧水洗化率
平成22年度から平成26年度まで毎年上昇しており、類似団体平均と比較しても高水準となっています。今後も100%を目指し、個別訪問等により接続促進を行います。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率

平成26年度については改築・修繕工事を前年度と比較し、約350m伸ばしたことから、平成26年度は前年度と比較し、0.07ポイント上昇しました。しかし、全国平均及び類似団体企業平均と比較すると、わずかに下回っており、今後も維持管理方法の見直し等による費用の削減や、更新事業の財源確保に取り組むことで、適切な管渠の更新に努めます。

全体総括

久喜市の下水道事業については、収益的収支比率が適正値である100%より低く推移していますが、平成26年度については改善傾向となっています。収入については、使用料収入の減少により、他会計からの繰入金や企業債等の収入で賄っているため、接続促進や債権回収に取り組むことで使用料収入の適正な確保に努めていきます。

支出については、企業債残高の抑制を進めたいところではありますが、管渠の更新ベースが全国平均及び類似団体平均と比較し、わずかに遅れています。そのため、投資計画や維持管理方法の見直し等による費用の削減に取り組むことで、更新工事等の財源確保にも努めていきます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。